

# 2020 年度全日本学生ヨット選手権北海道予選-470 級-

共同主催 北海道学生ヨット連盟・北海道セーリング連盟・小樽セーリング協会・室蘭セーリング協会  
 後援 室蘭市・室蘭市教育委員会・(一財)室蘭市スポーツ協会  
 開催地 【小樽】小樽市祝津ヨット競技場／【室蘭】室蘭市B&G海洋センター・(株)エンルムマリーナ室蘭  
 大会期日 2020年9月20日(土)、10月3日(土)、4日(日)

## レース公示(NoR)

[SP] レース委員会から審問なしに、またはプロテスト委員会の審問によりスタンダード・ペナルティーが課せられる

[NP] 艇からの抗議の根拠とはならない。これは規則 60.1(a)を変更している。

### 1. 適用規則

- 1.1 本大会は、『セーリング競技規則 2017-2020』（以下『規則』と表記）に定義された規則を適用する。
- 1.2 最新の「全日本学生ヨット連盟規約」「470 級学連申し合わせ事項」を適用する。
- 1.3 付則 P および付則 T を適用する。
- 1.4 規則 41 に以下を追加する。  
『(e) 自チーム内での情報の交換』
- 1.5 規則 60.1(b) に以下を追加する。  
『ただし、艇は、自チームの他艇から受けた損傷または傷害に基づいて、救済要求を行うことはできない。』
- 1.6 付則 D は適用しない。
- 1.7 以下の規則を追加する。  
『インシデントが同じチームの艇の間であり、接触がなかった場合、規則第 2 章の規則違反に対してのペナルティーはないものとする。』

### 2. 競技種目

470 級

### 3. 参加資格および申し込み

- 3.1 参加資格
  - (1) 2020 年度(公財)日本セーリング連盟の会員であること。
  - (2) 選手は全日本学生ヨット連盟規約第 6 条を満たしていること。
  - (3) 競技者は、日本 470 級協会の 2020 年度団体登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
- 3.2 参加申込み
  - (1) 以下の参加申込書の全てに記入の上、2020 年 9 月 18 日(金)までに下記あてに電子メールで必着すること。
    - (a) 参加申込書-1
    - (b) 参加申込書-2 (競技者名簿)
    - (c) 参加申込書に記載した競技者全員および監督の『2020 年度(公財)日本セーリング連盟会員証』もしくは『JSAF 会員web画面』写し
  - (2) 期日を過ぎてからの参加申込み(書類の不備を含む)および競技者の追加・変更は認められない。
- 3.3 参加申込先  
【送付先】 氏名： 堤麻理子 [hokkaido470snipe@gmail.com](mailto:hokkaido470snipe@gmail.com)

### 4. 参加費用

- 4.1 エントリー費 30,000 円/校
- 4.2 エントリー費の振込  
エントリー費は以下の口座に、期限内に振り込むこと。  
振込先：北海道学生ヨット連盟 銀行：北洋銀行 小樽駅前支店 口座番号：345 3306717  
振込期限 2020 年 9 月 18 日(金)

## 5. 艇

- 5.1 1チーム3艇とする。なお、各チームとも1艇の予備艇を認める。
- 5.2 2020年団体登録を完了し、かつ本大会の大会計測を完了していること。
- 5.3 予備艇の使用は損傷があった場合のみとし、レース委員会の許可を得なければならない。  
また、予備艇も本大会の計測を完了していなければならない。
- 5.4 チャーター艇の使用も可能とする。

## 6. セール

- 6.1 各チーム1艇につき1セットとする。なお、各チームとも3セットの予備セールを認める。
- 6.2 セールは基本計測を完了していなければならない。
- 6.3 艇は、他艇と同一のセール番号を同時に使用してはならない。
- 6.4 艇は、オリジナルのセール番号に数字・形象等を付加した、クラス協会に登録されていないセール番号を使用してはならない。
- 6.5 メインセールとスピナーカーのセール番号は同一でなければならない。  
ただし、予備セールを使用する場合はこの限りではない。
- 6.6 予備セールの使用は、セールの紛失又は補修ができないほどの損傷があった場合のみとし、レース委員会の許可を得なければならない。  
また予備セールは大会計測を完了していなければならない。

## 7. レース日程

9月5日(土)、6日(日) 09:00-16:00 大会計測

9月20日(日) ※【小樽】小樽市祝津ヨット競技場  
08:45-09:20 運営会議  
09:20-09:30 ブリーフィング  
10:30 470級第1レース予告信号掲揚予定  
以降のレースは引き続き行う

10月3日(土) ※【室蘭】室蘭市B&G海洋センター・(株)エンルムマリーナ室蘭  
08:45-09:20 運営会議  
11:00-11:10 ブリーフィング  
12:00 470級第1レース予告信号掲揚予定  
以降のレースは引き続き行う

10月4日(日) ※【室蘭】室蘭市B&G海洋センター・(株)エンルムマリーナ室蘭  
08:45-09:20 運営会議  
11:00-11:10 ブリーフィング  
12:00 470級第1レース予告信号掲揚予定  
以降のレースは引き続き行う

- 7.1 レースは参加校のうち各日2校が異なる組み合わせでレースを行う総当たり形式とする。
- 7.2 各日レース数は最大4レースとする。  
ただし、実施するレース数はレース委員会の裁量による。
- 7.3 各日 15:31 以降に予告信号が発せられることはない。

## 8 計測

- 8.1 参加チームは、艇およびセールについて大会計測を完了し、「大会計測証明書」および「大会計測済スタンプ」をもってその証明とする。
- 8.2 大会計測後は艇の修理・改造を行ってはならず、行った場合は再計測を受けなければならない。
- 8.3 本大会期間中、レース委員会に呼ばれた艇は指示に従いインスペクションを受けなければならない。

## 9 帆走指示書の配布

9月18日までに、北海道学生ヨット連盟のホームページ上に公開し、大会当日に配布は行わない。

## 10 受付

参加チームは、次の書類等を提出し受付を完了させなければならない。

- (a) エントリーするクラスの計測登録証明書
- (b) 「参加申込書-3」(「支援艇許可申請書」)

## 11 得点

- 11.1 大会の成立には各日1レースを完了することが必要である。
- 11.2 各日のチーム得点は、完了した全てのレースにおける各チーム3艇の得点の合計とし、得点の少ないチームの勝利とする。この項は規則A2を変更している。
- 11.3 各日のチーム得点がタイとなった場合は、規則A8の「艇」を「チーム」に置き換えて解く。
- 11.4 本大会の順位は、総当たり戦の勝利数が多い学校を上位とする。  
勝利数がタイとなった場合、各チームの全レースの平均点の少ない順とする。

## 12 無線通信 [DP] [NP]

緊急の場合を除き、レース中の艇は無線の送受信をしてはならない。この制限は携帯電話にも適用される。

## 13 賞

成績について、第1位から第3位のチームに賞状を贈呈する。  
ただし、エントリー数が2チーム以下の場合は参加チームまでとする。

## 14 支援艇 [DP] [NP]

- 14.1 支援艇  
支援艇とは、規則の定義にある支援者が乗艇するエンジン付きボート及びクルーザーで、水上においてレース中ではない自校に所属するレース艇に対し、以下の支援ができる。
  - (a) レース艇(選手)へのアドバイス、応援。
  - (b) レース艇の交換装備の積み込み、装備交換の援助、破損した装備の引き取り。
  - (c) 選手の交代。
  - (d) 飲料水、食事の選手への供与、ゴミの引き取り。
  - (e) 海上において装備の交換または艇の乗員の交替を行う際、レース委員会信号船への伝達の代理
- 14.2 支援艇の登録は「参加申込書-3(支援艇許可申請書)」を受付時に提出することにより完了する。  
登録に基づき「支援艇許可証」が発行され、レース委員会から緑色旗が貸与される。  
支援艇は水上において常に緑色旗を目立つように掲揚しなければならない。
- 14.3 支援艇は、「支援艇許可証」及び帆走指示書に記載される指示事項を守らなければならない。
- 14.4 レース委員会の指示に従わなかった支援艇は、以後出艇が許可されないほか、当該支援艇に関わるチームの全レース艇に対してペナルティーが課せられることがある。

## 15 コロナウイルス感染予防対策 [DP] [NP]

- 15.1 「選手・支援者・運営スタッフなどすべての参加者が遵守すべき事項」を遵守すること。
- 15.2 選手および支援者は各日において大会会場に入る際、オンラインまたは紙面にて「感染防止のための申告書」を提出し、検温を受けること。

## 16 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則4『レースをすることの決定』参照。  
主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害又は人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

## 17 その他

参加者は艇及び自身の映像や名称が放送、出版、その他へ露出されることについて同意するものとする。  
なおこれに対する対価を求めることはできない。

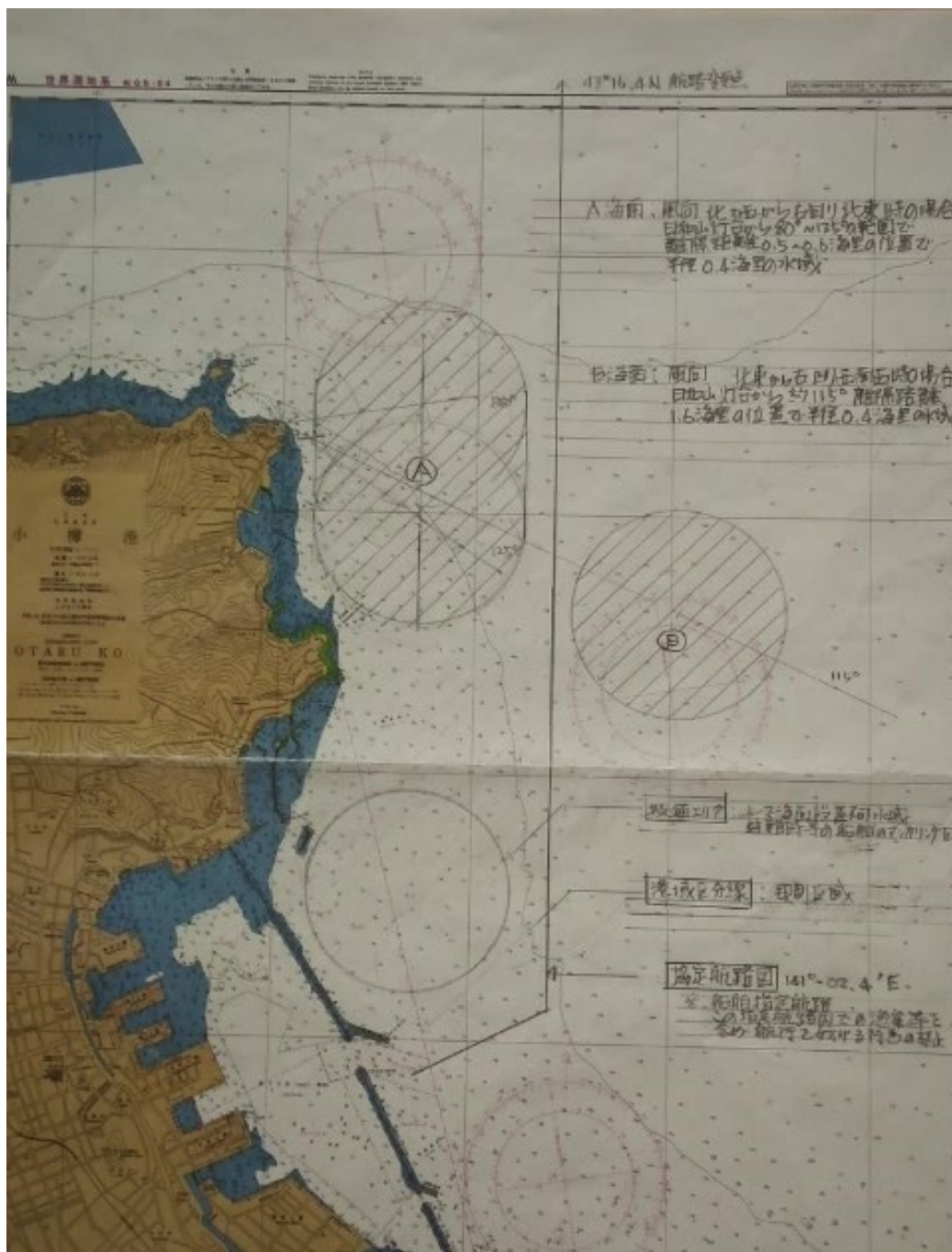
**18 問い合わせ先**

当レガッタに関する問い合わせは、次の通りである。

北海道学生ヨット連盟委員長 堤麻理子 080-8553-7524

メールアドレス hokkaido470snipe@gmail.com

「添付図 1」 レース海面 小樽市 祝津沖

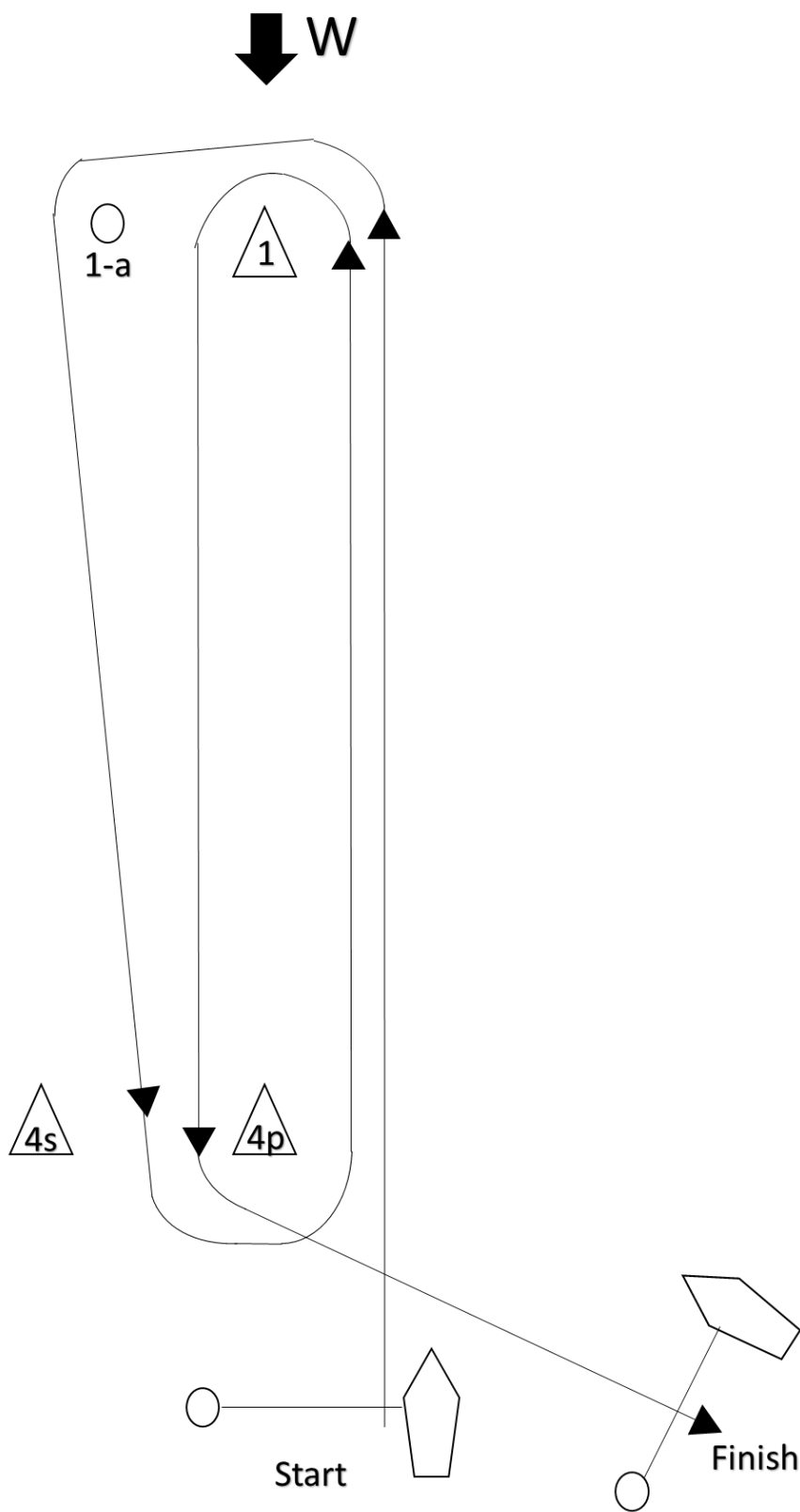


主要座標 緯度1度=緯度60分=60海里  
緯度1分=1海里(NM)=1.852KM

祝津沖水域 : 緯度 43° -13.0 N~43° -14.9 N 東経 141° -01.2 E~141° -03.7 E  
海面 A : 緯度 43° -13.6 N~43° -14.8 N 東経 141° -01.2 E~141° -02.3 E  
同中心 : 緯度 43° -14.0 N~43° -14.4 N 東経 141° -01.7 E  
海面 B : 緯度 43° -13.2 N~43° -14.0 N 東経 141° -02.5 E~141° -03.7 E  
同中心 : 緯度 43° -13.6 N 東経 141° -03.0 E  
\* 協定航路 東経 141° -02.4 E  
ハーバー入口: 緯度 43° -14.1 N 東経 141° -00.9 E

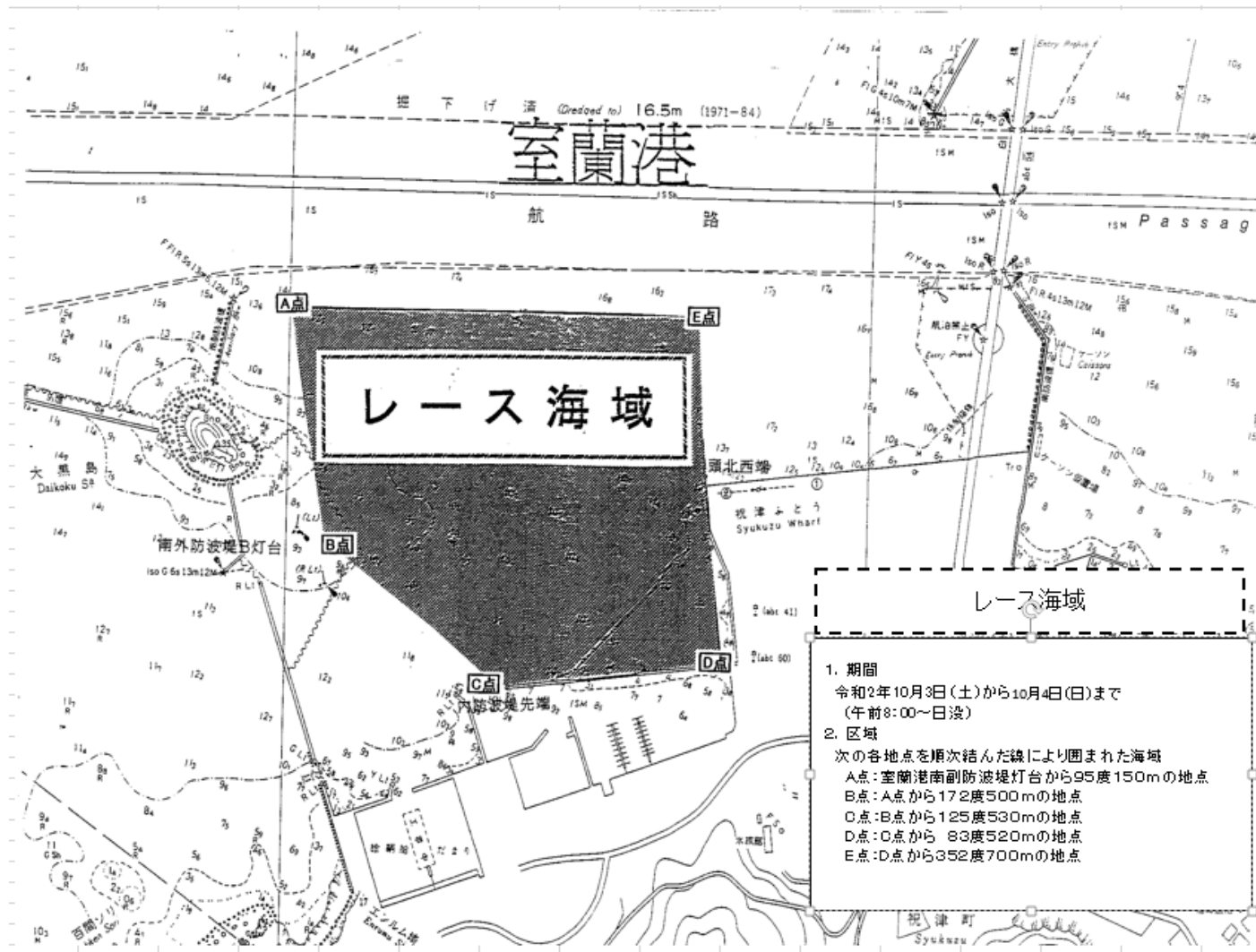
「添付図 2」 9 月 20 日実施時のコース

見取り図はレグ間の通過するマークの順序及びそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す



Start → 1 → 1-a → 4s/4p → 1 → 4p → Finish

「添付図 3」 レース海面 室蘭市 エンルムマリーナ室蘭沖



【レース海域】各地点から引いた線と陸岸により囲まれた海域。

A点:室蘭港南副防波堤灯台から95度150mの地点

B点:A点から172度500mの地点

C点:B点から125度530mの地点

D点:C点から83度520mの地点

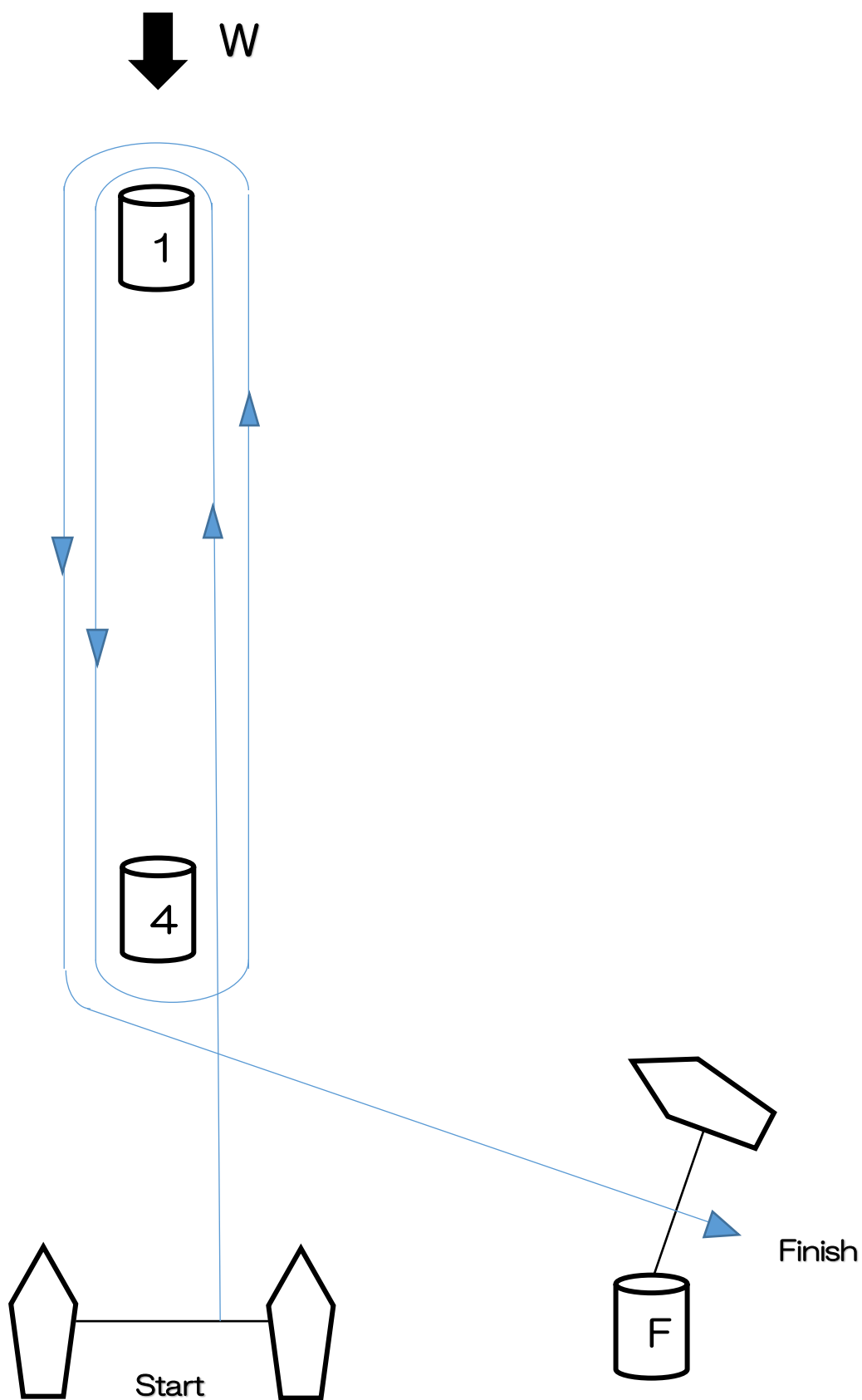
E点:D点から352度700mの地点

※但し、レース海域の使用については次の条件による。

海域を明示する旗竿付きボンデンをA点、B点、E点に設置し、制限海域を明確にする。

「添付図 4」 10月3日、10月4日実施時のコース

見取り図はレグ間の通過するマークの順序及びそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す



Start → 1 → 4 → 1 → 4 → Finish